

訪問看護ステーションにおける看多機設置に関する 現状調査結果報告

1. 目的 : 県内の訪問看護ステーション管理者の看多機開設に関する課題を明らかにする
2. 対象 : 県内の訪問看護ステーション管理者 948 名
3. 方法 : 調査用紙を郵送で配布し、記入後返送
4. 期間 : 令和 4 年 7 月 19 日～7 月 31 日
5. 回収率 : 27.8% (272/948)

【結果】

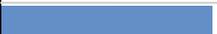
I. 看多機の開設について

項目	件数	割合	
① 開設している	7	2.6%	
② 開設を検討している	20	7.4%	
③ 開設を検討しない	201	73.9%	
無回答	44	16.2%	
合計	272	100.0%	

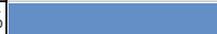
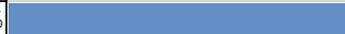
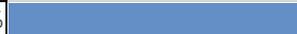
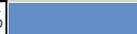
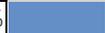
II. 看多機を開設している・開設を検討する理由について（複数回答）

項目	件数	割合	
① 退院直後で状態が不安定	19	70.4%	
② 退院直後で指導・助言が必要	13	48.1%	
③ 在宅看取り	22	81.5%	
④ レスパイトケア	13	48.1%	
⑤ その他	3	11.1%	
無回答	0	0.0%	
回答対象者数	27		

Ⅲ. 看多機の開設を検討しない理由として課題となるものについて（複数回答）

項目	件数	割合	
①スタッフ構成	61	30.3%	
②スタッフ確保	141	70.1%	
③利用者確保	46	22.9%	
④夜勤体制	86	42.8%	
⑤設備投資	92	45.8%	
⑥組織運営	89	44.3%	
⑦経営	106	52.7%	
⑧その他	17	8.5%	
回答対象者数	201		

Ⅳ. 看多機の設置が進むと思われる支援について（複数回答）

項目	件数	割合	
①開設方法の説明	73	26.8%	
②開設相談窓口の設置	63	23.2%	
③経営アドバイザーからの説明	89	32.7%	
④人材確保の支援	145	53.3%	
⑤助成や制度の説明	127	46.7%	
⑥教育体制の整備	56	20.6%	
⑦看多機事業者間の連携や交流	40	14.7%	
⑧専門職や地域住民への周知	39	14.3%	
⑨その他	9	3.3%	
無回答	78	28.7%	
回答対象者数	272		